

地 勢

《 概 要 》

当圏域は、群馬県南西部に位置し、県総面積の 7.7%を占めている。東は田園に展けて、藤岡市、高崎市を経て関東平野に続き、西は、国定公園、妙義荒船の山系を境として、長野県佐久市、軽井沢町に、南には秩父連峰を背にして東西に延びる山脈をへだてて多野郡に、北は雄大な浅間山を望見し、安中市に接している。

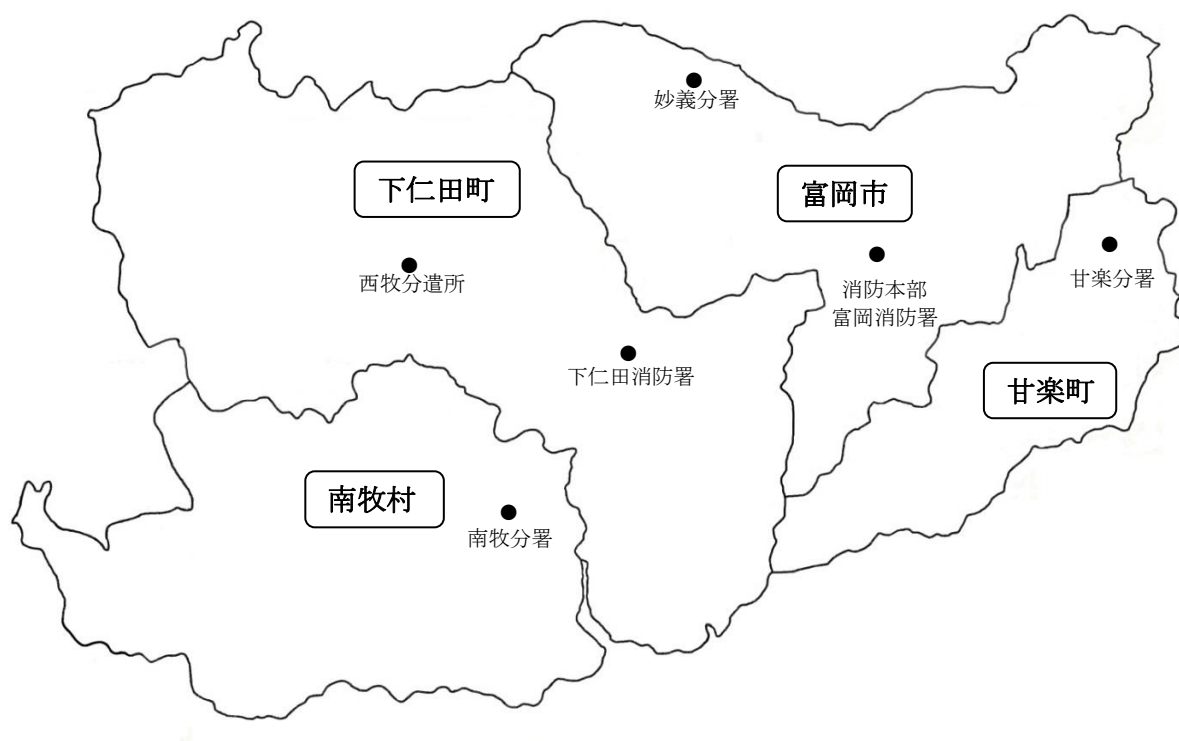
地形は、三方を山並みに囲まれ、西に進むにつれて高くなり平坦地は概ね Y 地形を呈している。東西における標高差は 1,200m 有余で、上信国境の山峡にその本流を発する鐺川は、支流南牧川を合流して国道 254 号線に沿って中心部を貫流し、多目的用水として圏域を潤し、東方に開ける関東平野に流れ去っている。

年間を通じ、四季の変化に富み、気候は温暖で、夏季スコールをしのばせる雷雨がひん度に見舞い、冬季の季節風は県内でもおだやかな甘楽郷である。

《 位 置 》



広 域 市 町 村 圏 図



概 要

東 西 距 離	3 4 . 4 km
南 北 距 離	2 0 . 7 km
面 積	4 8 8 . 6 7 km ²
海 抜 (東 西)	1 3 7 ~ 1 , 4 2 2 m

消 防 本 部

富 岡 消 防 署

東経 138° 51' 29" 00

北緯 36° 14' 48" 00



下仁田消防署

東経 138° 46' 41" 00

北緯 36° 13' 15" 00



富岡消防署 甘楽分署

東経 138° 56' 02" 00

北緯 36° 15' 03" 00



下仁田消防署 南牧分署

東経 138° 43' 43" 00

北緯 36° 10' 00" 00



富岡消防署 妙義分署

東経 138° 48' 08" 00

北緯 36° 17' 30" 00



下仁田消防署 西牧分遣所

東経 138° 42' 22" 00

北緯 36° 14' 29" 00



組 合 消 防 庁 舎 の 位 置 ・ 概 要

(令和7年4月1日現在)

名 称	位 置	建 物 構 造 ・ 面 積	敷地面積	竣 工 年 月 日	工 事 費 含設計料
消 防 本 部 富 岡 消 防 署	富岡市田島26番地	鉄筋コンクリート 1部鉄 骨造 3階建延(付帯設備含む) 3092.92㎡	7,590.08㎡	令 6. 8. 21	(千円) 1,773,000
富 岡 消 防 署 甘 楽 分 署	甘楽郡甘楽町 大字小川328番地1	鉄筋コンクリート 1部鉄 骨造2階建延 641.41㎡	2,870.24㎡	令 2. 1.31	(千円) 342,234
富 岡 消 防 署 妙 義 分 署	富岡市妙義町中里 298番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延 228㎡	1,232㎡	昭51. 3.20	(千円) 28,768
下 仁 田 消 防 署	甘楽郡下仁田町 大字下小坂162番地1	鉄筋コンクリート 1部鉄 骨造2階建延 518.77㎡	1,585.83㎡	昭58. 3.20	(千円) 90,983
下 仁 田 消 防 署 南 牧 分 署	甘楽郡南牧村 大字磐戸267番地	鉄骨造 平屋建て 延 389.85㎡	1474.19㎡	令 6.5.27	(千円) 254,441
下 仁 田 消 防 署 西 牧 分 遣 所	甘楽郡下仁田町 大字南野牧6079番地5	鉄筋コンクリート造2階建 延 218.38㎡	550.59㎡	昭52. 3.31	(千円) 25,373

組 合 管 内 人 口 ・ 面 積 等

(令和7年4月1日現在)

区 分	人 口			世 帯 数	面積(k ㎡)
	男	女	計		
富 岡 市	22,261	22,635	44,896	20,630	122.85
下 仁 田 町	2,984	3,068	6,052	3,090	188.38
南 牧 村	672	741	1,413	801	118.83
甘 楽 町	6,150	6,200	12,350	5,187	58.61
合 計	32,067	32,644	64,711	29,708	488.67

組 合 消 防 の あ ゆ み

- 46. 9. 1 国の、広域市町村圏振興整備措置要綱に基づき、群馬県知事から指令地第 147 号で広域組合が設立許可され、富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合が設立された。
- 47. 4. 1 富岡市消防本部、富岡市消防署及び下仁田町消防団常備消防部を発展的に改組し、条例職員定数 63 人とし、職員 6 人を新採用して、富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部 14 人、富岡消防署 32 人及び下仁田消防署 16 人の消防長以下 62 人をもって広域消防が発足した。
- 47. 12. 4 自動車電機㈱から救急車 1 台を寄贈され富岡消防署に配備する。(ニッサンシビリアン)
- 47. 12. 25 普通消防ポンプ自動車 1 台を購入する。(ニッサン)
- 48. 3. 28 日本自動車工業会から救急車 1 台を寄贈される。(トヨタハイエース)
- 48. 4. 1 職員定数条例を改正して、職員定数 77 人とし、15 人を新規採用、実員 77 人となる。
- 48. 4. 30 原動機付自転車 1 台を購入する。(ホンダ)
- 48. 5. 11 富岡消防署甘楽分署を設置。普通消防ポンプ自動車 (ニッサン)、救急車 (トヨタハイエース) 原動機付自転車 (ホンダ) 各 1 台を配備し、分署長以下 11 人で発足し開署。甘楽町地域防災拠点の充実をはかる。職員は消防本部 17 人、富岡消防署 31 人、甘楽分署 11 人、下仁田消防署 18 人の消防長以下 77 人となる。
- 48. 7. 26 群馬県共済農業協同組合連合会から救急車 1 台を寄贈される。(ニッサンキャラバン)
- 49. 2. 18 普通消防ポンプ自動車 2 台を購入。うち 1 台を下仁田消防署に配備する。(ニッサン)
- 49. 4. 1 職員定数条例を改正して職員定数 90 人とし、13 人を新規採用して、実員 90 人となる。
- 49. 4. 30 原動機付自転車 1 台を購入する。(ホンダ)
- 49. 5. 1 富岡消防署一ノ宮分署を設置。普通消防ポンプ自動車 (ニッサン)、救急車 (ニッサンキャラバン) 原動機付自転車 (ホンダ) 各 1 台を配備し、分署長以下 11 人で発足開署。富岡市西部地域防災拠点の充実をはかる。職員は消防本部 17 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、下仁田消防署 18 人の消防長以下 90 人となる。
- 49. 7. 10 連絡車 1 台を購入し消防本部に配備する。(スズキバン)
- 49. 8. 22 日本消防協会 (寄贈、日本船舶振興会) から救急車 1 台を寄贈される。(トヨタハイエース)
- 50. 2. 14 普通消防ポンプ自動車 1 台を購入。(ニッサン)
- 50. 4. 1 職員定数条例を改正して職員定数 99 人とし、9 人を新規採用して、職員 99 人となる。
- 50. 5. 1 原動機付自転車 1 台を購入する。(ホンダ)
- 50. 5. 1 下仁田消防署南牧分署を設置して、普通消防ポンプ自動車 (ニッサン)、救急車 (トヨタハイエース) 原動機付自転車 (ホンダ) 各 1 台を配備し、分署長以下 9 人で発足開署。南牧村地域防災拠点の充実をはかる。職員は消防本部 17 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、下仁田消防署 18 人、南牧分署 9 人の消防長以下 99 人となる。
- 50. 12. 11 群馬県共済農業協同組合連合会から救急車 1 台を寄贈され、下仁田消防署の救急車を更新する。(ニッサンキャラバン)
- 51. 1. 22 普通消防ポンプ自動車 1 台を購入する。(ニッサン)

- 51. 3. 19 日本自動車工業会から救急車 1 台を寄贈される。(ニッサンキャラバン)
- 51. 4. 1 職員定数条例を改正して職員定数 108 人とし、職員 10 人を新規採用して、職員 108 人となる。
- 51. 5. 1 原動機付自転車 1 台を購入する。(ホンダ)
- 51. 5. 1 富岡消防署妙義分署を設置。普通消防ポンプ自動車(ニッサン)、救急車(ニッサンキャラバン) 原動機付自転車(ホンダ) 各 1 台を配備し、分署長以下 9 人で発足開署。妙義町地域防災拠点の充実をはかる。職員は消防本部 17 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 18 人、南牧分署 9 人の消防長以下 108 人となる。
- 52. 4. 1 職員定数条例を改正して職員定数を 115 人とし、職員 10 人を新規採用して、職員 115 人となる。
- 52. 4. 13 救急車 1 台を購入する。(トヨタハイエース)
- 52. 5. 10 下仁田消防署西牧分遣所を設置。救急車 1 台(トヨタハイエース)を配備し、分遣所長以下 7 人で発足、下仁田町西部地域防災拠点の充実をはかる。職員は消防本部 17 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 18 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 7 人の消防長以下 115 人となる。
- 52. 5. 14 原動機付自転車 1 台を購入し、西牧分遣所に配備する。(ホンダ)
- 53. 2. 28 救助工作車 1 台を購入。富岡消防署に配備し、救助活動の充実をはかる。(日野レンジャー)
- 53. 10. 6 指令車 1 台を購入し消防本部に配備する。(スズキフロンテ)
- 54. 1. 25 化学消防ポンプ自動車 1 台を購入し富岡消防署へ配備。危険物火災に対する防ぎょ態勢の強化をはかる。(日野レンジャー)
- 54. 9. 14 富岡甘楽危険物安全協会から広報車 1 台を寄贈され消防本部に配備する。(ニッサンバイオレット)
- 54. 11. 7 指令車を購入。下仁田消防署及び甘楽分署に配備し、指揮統制の充実をはかる。(スズキフロンテ)
- 55. 3. 5 下仁田消防署の水そう付消防ポンプ自動車を更新する。(いすゞフォワード)
- 55. 12. 22 指令車を購入し、一ノ宮分署及び南牧分署へ配備する。(スズキフロンテ)
- 56. 10. 24 指令車 1 台を購入し妙義分署に配備する。(スズキフロンテ)
- 56. 12. 16 資器材運搬車 1 台を購入。富岡消防署に配備し、水防活動等の警防態勢の強化をはかる。(ニッサンホームャー)
- 57. 2. 4 富岡消防署の消防ポンプ自動車を更新する。(いすゞエルフ)
- 57. 4. 1 職員配置替えを実施し、消防本部 16 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 19 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 7 人の合計実員 115 人となる。
- 57. 9. 10 指令車 1 台を購入し、消防本部に配備する。(スバル)
- 58. 3. 20 下仁田消防署庁舎新築移転、西部地域防災拠点の充実をはかる。
- 58. 4. 18 群馬県共済農業協同組合連合会から救急車 1 台を寄贈され富岡消防署に配備する。(ニッサンキャラバン)
- 59. 3. 5 消防本部・富岡消防署庁舎新築移転、近代災害に対応する設備を整備して、広域の中核としての防災拠点の充実をはかる。
- 59. 4. 1 職員定数条例を改正して職員定数 117 人とし、3 人を新規採用して、職員 117 人となる。職員は消防本部 16 人、富岡消防署 35 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 19 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 7 人の消防長以下 117 人となる。
- 59. 4. 12 原動機付自転車 1 台を購入し、消防本部に配備する。(ホンダ)
- 59. 5. 1 通信指令室を独立させ、職員配置替えを実施し、消防本部 16 人、通信指令室 2 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下

- 仁田消防署 19 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 7 人の合計 117 人となる。
59. 5. 21 連絡車 1 台を購入し、消防本部に配備する。(スバル)
59. 9. 12 群馬県共済生活協同組合富岡支部から運搬車 1 台を寄贈され、消防本部に配備する。(ニッサンバネット)
59. 12. 18 一ノ宮分署の消防ポンプ自動車を更新する。(いすゞフォワード)
60. 2. 6 日本損害保険協会から救急車 1 台を寄贈され甘楽分署に配備する。(ニッサンキャラバン)
60. 5. 1 西牧分遣所に消防ポンプ自動車 1 台を配備し、防災活動の充実をはかる。職員配置替えを実施し、消防本部 16 人、通信指令室 2 人、富岡消防署 33 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 18 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 8 人の合計 117 人となる。
60. 11. 25 甘楽分署の消防ポンプ自動車を更新する。(ニッサンコンドル)
61. 3. 13 一ノ宮分署の救急車を更新する。(トヨタハイエース)
61. 11. 6 下仁田消防署の指令車を更新する。(スバルレオーネ)
61. 11. 7 西牧分遣所に指令車 1 台を配備し、指揮統制の充実をはかる。(スズキフロンテ)
61. 11. 17 下仁田消防署の消防ポンプ自動車を更新する。(いすゞエルフ)
61. 11. 27 日本防火協会から広報車 1 台を寄贈され、消防本部に配備し、広報活動の増強をはかる。(ニッサンキャラバン)
62. 12. 21 南牧分署の消防ポンプ自動車を更新する。(三菱キャンター)
63. 2. 6 南牧分署の救急車を更新する。(トヨタハイエース)
63. 7. 1 職員配置替えを実施し、消防本部 16 人、通信指令室 8 人、富岡消防署 27 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 9 人、下仁田消防署 18 人、南牧分署 9 人、西牧分遣所 8 人の合計 117 人となる。
63. 12. 12 消防本部の指令車を更新する。(トヨタスプリンターカリブ)
63. 12. 15 妙義分署の消防ポンプ自動車を更新する。(ニッサンコンドル)
- 元. 3. 30 自動車工業会から救急車 1 台を寄贈され、下仁田消防署の救急車を更新する。(ニッサンキャラバン)
- 元. 7. 20 富岡甘楽危険物安全協会から広報車 1 台を寄贈され、消防本部に配備し、予防行政の充実をはかる。(ニッサンADバン)
- 元. 10. 30 富岡消防署の資器材運搬車を更新する。(ニッサンアトラス)
- 元. 11. 15 自動車電機㈱から救急車 1 台を寄贈され、富岡消防署に配備し、救急活動の増強をはかる。(ニッサンキャラバン)
- 元. 12. 15 富岡消防署の消防ポンプ自動車を更新(三菱キャンター)する。
2. 1. 22 日本損害保険協会から救急車 1 台を寄贈され、妙義分署の救急車を更新し、救急活動の増強をはかる。(トヨタハイエース)
2. 3. 5 高速道救急対応として、職員定数条例を改正して職員定数 125 人とする。
3. 10. 16 西牧分遣所の救急車を更新し、救急活動の増強をはかる。(トヨタハイエース)
4. 5. 1 職員配置替えを実施し、消防本部 16 人、通信指令室 8 人、富岡消防署 27 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 10 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の合計 120 人となる。
4. 11. 25 上信越自動車道路の開通に備え、高出力救急車を購入し、富岡消防署に配備する。(ニッサンキャラバン)
4. 12. 25 職員定数条例を改正して、職員定数 133 人とする。
5. 3. 12 上信越自動車道路の開通に備え、富岡消防署に高速救急隊を設置する。
5. 4. 1 職員 10 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 8 人、富岡消防署 32 人、甘楽分署 11 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 126 人となる。下仁田消防署の救急車(ニッサンキャラバン4WD)と下仁田消防署西牧分遣所救急車(トヨタハ

- イエース) を配置換えする。
- 6. 1. 20 緊急情報システム用地図検索装置を更新し、火災救急等の出動体制の迅速化を図る。(旧機種救急業務用地図等検索装置は、昭和 58 年度購入)
 - 6. 4. 1 職員 10 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 10 人、富岡消防署 34 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 132 人となる。
 - 6. 7. 1 職員 1 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 10 人、富岡消防署 35 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 133 人となる。
 - 6.11.11 救急救命士 1 人誕生。
 - 7. 3. 10 富岡消防署の化学消防ポンプ自動車及び救助工作車を更新し、特殊火災に対する防ぎょの強化と救助活動の充実をはかる。(三菱ファイター)
 - 7. 4. 1 職員 2 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 10 人、富岡消防署 35 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 133 人となる。
 - 7.12.12 西牧分遣所の指揮連絡車を更新する。(スズキジムニー)
 - 8. 2. 29 甘楽分署の救急車を更新する。(ニッサンキャラバン)
 - 8. 3. 6 はしご付消防自動車を購入し、富岡消防署に配備する。(三菱ザ・グレート)
 - 8. 5. 9 救急救命士 1 人誕生、2 人となる。
 - 8. 8. 30 甘楽分署の指揮連絡車を更新する。(スズキジムニー)
 - 8.11.19 救急救命士 1 人誕生、3 人となる。
 - 9. 1. 20 西牧分遣所のポンプ車を更新する。(ニッサンアトラス 4WD)
 - 9. 2. 4 下仁田消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。(ニッサンディーゼル)
 - 9. 4. 1 職員定数条例を改正して、職員定数 138 人とする。
職員 6 人を採用して、消防本部 17 人(消防学校派遣含)、通信指令室 10 人、富岡消防署 36 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 135 人となる。
 - 9. 7. 2 群馬県共済生活協同組合富岡支部から運搬車を寄贈され、消防本部に配備する。(ニッサンセレナ)
 - 9. 8. 25 消防本部の指令車を更新する。(ニッサンクルー)
 - 9. 9. 25 緊急援助隊出動に備え、資器材を購入する。
 - 9.10.22 下仁田消防署南牧分署の指揮連絡車を更新する。(スズキジムニー)
 - 9.11.11 救急救命士 1 人誕生、4 人となる。
 - 10. 1. 22 富岡消防署一ノ宮分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。(ニッサンディーゼル)
 - 10. 3. 2 富岡消防署に高規格救急車 1 台(トヨタハイメディック)を購入配備して高度救急活動を開始する。富岡消防署の救急車(ニッサンキャラバン)を富岡消防署一ノ宮分署へ配置換えする。
 - 10. 4. 1 職員 5 人を採用して、消防本部 17 人(消防学校派遣 1 名を含)、通信指令室 10 人、富岡消防署 37 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 136 人となる。
 - 10. 4. 30 消防本部の連絡車を廃棄し、運搬車 1 台を購入する。(ホンダアクティー)
 - 10.10.28 富岡消防署一ノ宮分署の指揮連絡車を更新する。(スズキジムニー)
 - 10.11.10 救急救命士 1 人誕生、5 人となる。
 - 10.11.26 下仁田消防署南牧分署の救急車を更新する。(ニッサンキャラバン 4WD)
 - 10.12.14 富岡消防署甘楽分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。(ニッサンディーゼル)
 - 11. 3. 12 通信指令装置(車両動態管理装置・簡易指令電送装置・自動順次指令装置・自

- 動出動指定装置・無線統制台)を更新し、災害対応の迅速化を図る。平成 11 年 4 月 1 日運用開始。
11. 4. 1 職員 4 人を採用して、消防本部 17 人(群馬県防災航空隊派遣 1 名を含む)、通信指令室 10 人、富岡消防署 38 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
11. 5. 6 救急救命士 1 人誕生、6 人となる。
11. 7. 2 富岡甘楽危険物安全協会から広報車 1 台を寄贈され予防行政の充実をはかる。(トヨタカローラワゴン)
- 11.10.15 富岡消防署妙義分署の指揮連絡車を更新する。(スズキジムニー)
- 11.11.18 救急救命士 1 人誕生、7 人となる。
12. 2.23 下仁田消防署西牧分遣所の救急車を更新する。〔Ⅱ課程対応型〕(トヨタ)
12. 3.15 消防本部の広報車を廃棄し、防災指導車として更新する。(ニッサンキャラバン)
12. 4. 1 職員 3 人を採用して、消防本部 17 人(群馬県防災航空隊派遣 1 名を含む)、通信指令室 10 人、富岡消防署 38 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
12. 5.10 救急救命士 1 人誕生、8 人となる。
- 12.11. 9 救急救命士 1 人誕生、9 人となる。
13. 1.18 富岡消防署妙義分署の救急車を更新する。〔Ⅱ課程対応型〕(トヨタ)
13. 2.15 下仁田消防署南牧分署のポンプ車を更新する。(三菱キャンター)
- 13.10.15 下仁田消防署の指令車を更新する。(トヨタカローラバン)
- 13.11. 7 救急救命士 1 人誕生、10 人となる。
- 13.11.12 富岡消防署一ノ宮分署の救急車を更新する。〔Ⅱ課程対応型〕(トヨタ)
14. 3. 6 富岡消防署妙義分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。〔災害対応特殊型〕(三菱ファイター)
14. 4. 1 職員 2 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
14. 5. 1 職員 1 人を採用して、消防本部 16 人、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
- 14.11.12 下仁田消防署の消防ポンプ自動車(いすゞエルフ)を小型動力ポンプ付積載車(日野デュトロ)に更新する。
- 14.11.12 救急救命士 1 人誕生、11 人となる。
15. 3.24 下仁田消防署の救急車を高規格救急車〔災害対応特殊型〕(ニッサンパラメディック)に更新する。
15. 4. 1 消防本部警防課に新たに救急救助係を設け、消防本部 17 人(群馬県防災航空隊派遣 1 名を含む)、通信指令室 10 人、富岡消防署 38 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
15. 9.18 消防本部の指令車を更新する。(トヨタプロボックス)
- 15.11.11 救急救命士 1 人誕生、12 人となる。
- 15.11.13 富岡消防署の消防ポンプ自動車を更新する。〔CD-I 型 7000 水槽付〕(三菱キャンター)
16. 7.13 新潟・福島豪雨災害が発生し、群馬県緊急消防援助隊出動する。当広域消防本部から 1 次隊 2 車両 5 名、2 次隊 2 車両 7 名が出動し、13 日～15 日の 3 日間新潟県三条市において、ボートを活用して救出活動を行う。

- 16. 8. 13 富岡甘楽広域消防本部のホームページを開設する。
- 16. 10. 1 富岡消防署に救急用消毒室を新設する。
- 16. 10. 23 新潟中越地震が発生し、家屋の倒壊及び道路寸断等の被害に対して群馬県緊急消防援助隊出動する。当広域消防本部から 2 車両 7 名が出動し、24 日～26 日の 3 日間新潟県小千谷市において、救急隊の活動支援及び情報収集連絡員として活動する。
- 16. 11. 8 救急救命士 1 人誕生、13 人となる。
- 16. 12. 11 富岡消防署の救急車を高規格救急車〔災害対応特殊型〕（ニッサンパラメディック）に更新する。
- 17. 4. 1 職員 2 人を採用して、消防本部 17 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 16 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 138 人となる。
- 17. 4. 5 富岡消防署の高規格救急車（トヨタハイメディック）と富岡消防署一ノ宮分署の救急車〔Ⅱ課程対応型〕（トヨタ）を配置換えする。
- 17. 4. 22 救急救命士 1 人誕生、14 人となる。
- 17. 9. 13 富岡消防署の資器材運搬車を更新し、緊急消防援助隊の後方支援及び水防活動等の警防態勢の増強をはかる。（イスズエルフ）
- 17. 11. 11 救急救命士 2 人誕生、16 人となる。
- 17. 12. 1 携帯電話からの 119 番通報の受信方法を直接受信方式に切り替える。
- 18. 3. 27 富岡市と妙義町が合併し、「富岡市」となる。
- 19. 4. 1 職員 3 人を採用して、消防本部 16 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 2 人の消防長以下 138 人となる。
- 19. 5. 2 救急救命士 3 人誕生、19 人となる。
- 20. 1. 25 富岡消防署甘楽分署の救急車を高規格救急車〔災害対応特殊型〕（ニッサンパラメディック）に更新する。
- 20. 4. 1 職員 5 人を採用して、消防本部 15 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 2 人の消防長以下 137 人となる。
- 20. 4. 1 救急救命士 20 人となる。（採用職員 1 名 免許取得者）
- 20. 4. 17 救急救命士 3 人誕生、23 人となる。
- 21. 4. 1 職員 6 人を採用して、消防本部 16 人（群馬県消防学校派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 2 人の消防長以下 138 人となる。
- 21. 4. 14 救急救命士 4 人誕生、27 人となる。
- 21. 10. 1 職員 1 人を採用して、消防本部 16 人（群馬県消防学校派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 2 人の消防長以下 138 人となる。
- 21. 11. 18 富岡甘楽危険物安全協会から広報車 1 台を寄贈され予防行政の充実をはかる。（トヨタサクシード）
- 22. 1. 19 富岡消防署の化学消防ポンプ自動車を更新する。（日野レンジャー）
- 22. 4. 1 職員 4 人を採用して、消防本部 16 人（群馬県消防学校派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 1 人の

- 消防長以下 137 人となる。
22. 4. 13 救急救命士 2 人誕生、29 人となる。
- 22.11. 2 下仁田消防署南牧分署の救急車を高規格救急車〔災害対応特殊型〕に更新する。
- 22.11.17 一ノ宮分署の救急車〔高規格〕（トヨタハイメディック）を高規格救急車〔災害対応特殊型〕に更新する。
23. 3. 11 東日本大震災の発生により、群馬県緊急消防援助隊の一員として 3 月 11 日から 5 月 29 日までの期間中に 28 隊、81 人（延べ 334 人）を派遣し行方不明者の捜索、救急活動支援等を行う。
23. 4. 1 職員 5 人を採用して、消防本部 17 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、消防救急無線共同整備等事務局派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 1 人の消防長以下 138 人となる。
23. 4. 12 救急救命士 3 人誕生、32 人となる。
23. 7. 1 職員 1 人を採用する。
- 23.12.16 下仁田消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。（日野レンジャー）
- 23.12.19 富岡消防署の救助工作車を更新する。（日野レンジャー）
24. 3. 16 一般社団法人日本自動車工業会からの寄贈を受け、下仁田消防署西牧分遣所の救急車を高規格救急車に更新する。（ニッサンパラメディック）
24. 4. 1 職員 4 人を採用して、職員総数 138 人となる。
24. 4. 10 救急救命士 2 人誕生、33 人となる。
24. 6. 22 消防本部の運搬車を更新する。（トヨタハイエース（10 人乗り））
24. 9. 26 西牧分遣所の指揮連絡車を更新する。（三菱ミニキャブ）
- 24.12.19 一ノ宮分署の消防車を更新する。（日野レンジャー）
25. 4. 1 職員 6 人を採用して、消防本部 17 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、消防救急無線共同整備等事務局派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 40 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人、嘱託職員 1 人の消防長以下 139 人となる。
25. 4. 8 救急救命士 1 人誕生、32 人となる。
- 25.12. 3 富岡消防署甘楽分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。（日野レンジャー）
26. 2. 27 富岡消防署に高規格救急車〔災害対応特殊型〕を購入配備する。（ニッサンパラメディック）
26. 2. 27 妙義分署の救急車〔2 B 型〕を高規格救急車（トヨタハイメディック）に更新する。
26. 4. 1 職員定数条例を改正して、職員定数 143 人とする。
職員 8 人を採用して、消防本部 19 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、消防救急無線共同整備等事務局派遣 1 人含）、通信指令室 10 人、富岡消防署 42 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 15 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 142 人となる。
26. 4. 25 救急救命士 3 人誕生、34 人となる。
26. 6. 13 消防本部の運搬 1 号車を更新する。（スズキエブリイ）
- 26.10. 8 消防本部の指令 1 号車を更新する。（ニッサンエクストレイル）
27. 4. 1 職員 13 人を採用して、消防本部 20 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含）、通信指令室 10 人、指揮隊 6 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 142 人となる。
27. 4. 23 救急救命士 1 人誕生、35 人となる。
27. 9. 9 関東・東北豪雨の発生により、群馬県緊急消防援助隊の一員として当広域消防本部から消火隊 1 隊・後方支援隊 1 隊（2 車両 7 名）を派遣し、9 月 12 日から 14 日までの間、茨城県常総市において住民の安否確認等を行う。

27. 11. 9 27. 4. 1 消防本部指揮隊の発足に伴い、消防本部に指揮車を配備する。(ニッサンキャラバン)
27. 12. 7 南牧分署の消防ポンプ車を更新する。(日野デュトロ)
28. 1. 15 西牧分遣所の消防ポンプ車を更新する。(日野デュトロ)
28. 4. 1 職員 8 人を採用して、消防本部 21 人(群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含)、通信指令室 4 人、指揮隊 10 人、富岡消防署 40 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 142 人となる。
28. 4. 1 たかさき消防共同指令センター運用開始(デジタル消防無線本格運用)する。
28. 4. 25 救急救命士 2 人誕生、37 人となる。
28. 7. 13 業務の充実を図るために消防本部に運搬 4 号車、5 号車を配備する。(ダイハツハイゼットカーゴ)
29. 2. 22 下仁田消防署の高規格救急車を更新する。(ニッサンパラメディック)
29. 4. 1 職員 4 人を採用して、消防本部 21 人(群馬県消防学校派遣 1 人、群馬県総務部消防保安課派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含)、指揮管理課 12 人、富岡消防署 42 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 142 人となる。
29. 4. 25 救急救命士 2 人誕生、39 人となる。
30. 1. 18 富岡消防署妙義分署の消防ポンプ車を更新する。(日野デュトロ)
30. 3. 23 富岡消防署の高規格救急車を更新する。(ニッサンパラメディック)
30. 4. 1 職員 6 人を採用して、消防本部 20 人(群馬県消防学校派遣 1 人、群馬県総務部消防保安課派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含)、指揮管理課 11 人、富岡消防署 42 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 140 人となる。
30. 4. 26 救急救命士 1 人誕生、38 人となる。
30. 7. 1 職員 1 人を採用する。
30. 11. 21 下仁田消防署の指令車を更新する。(スズキエブリイ)
31. 1. 25 富岡消防署の消防ポンプ車を更新する。(日野デュトロ)
31. 4. 1 職員 5 人を採用して、消防本部 19 人(たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含)、指揮管理課 11 人、富岡消防署 42 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 139 人となる。
31. 4. 15 救急救命士 2 人誕生、39 人となる。
- 元. 9. 30 消防本部の指令 2 号車を更新する。(ニッサン NV200)
- 元. 10. 3 甘楽分署、南牧分署の指令車を更新する。(ニッサンクリッパー)
2. 1. 24 富岡甘楽危険物安全協会から支援車 1 台(運搬 6 号車)を寄贈され災害対応の充実をはかる。(スズキキャリー)
2. 3. 19 富岡消防署甘楽分署の高規格救急車を更新する。(ニッサンパラメディック)
2. 4. 1 富岡消防署甘楽分署庁舎新築移転し運用を開始。甘楽町地域防災拠点の充実をはかる。
2. 4. 1 職員 1 人を採用して、消防本部 21 人(群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含)、指揮管理課 11 人、富岡消防署 41 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 140 人となる。
2. 4. 1 違反対象物に係る公表制度開始。
2. 4. 16 救急救命士 1 人誕生、40 人となる。
3. 4. 1 消防本部名称を「富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部」から「富岡甘

楽広域消防本部」に変更する。

- 3. 4. 1 消防本部 21 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人含）、指揮管理課 10 人、富岡消防署 40 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 138 人となる。
- 4. 4. 1 職員を 3 人採用して、消防本部 21 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人、育休職員 1 人含）、指揮管理課 10 人、富岡消防署 37 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 135 人となる。
- 4. 4. 12 救急救命士 2 人誕生、41 人となる。
- 4. 5. 1 職員を 1 人採用する。
- 5. 3. 13 富岡消防署一ノ宮分署と下仁田消防署南牧分署の高規格救急車を更新する。（ニッサンパラメディック）
- 5. 4. 1 職員を 3 人採用して、消防本部 21 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人）、指揮管理課 10 人、富岡消防署 39 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 11 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
- 5. 4. 24 救急救命士 1 人誕生、42 人となる。
- 6. 1. 1 職員を 1 人採用する。
- 6. 1. 1 令和 6 年能登半島地震が発生し、群馬県緊急消防援助隊の一員として 1 月 1 日から 1 月 10 日までの期間中に 12 隊 40 人を派遣し救急活動、検索救助活動等を行う。
- 6. 3. 11 下仁田消防署西牧分遣所の高規格救急車を更新する。（ニッサンパラメディック）
- 6. 4. 1 消防本部 24 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人）、指揮管理課 10 人、富岡消防署 38 人、甘楽分署 13 人、一ノ宮分署 10 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 138 人となる。
- 6. 4. 24 救命士 1 人誕生、42 人となる。
- 6. 8. 1 下仁田消防署南牧分署庁舎新築移転し運用を開始する。南牧村地域防災拠点の充実をはかる。
- 6. 10. 1 富岡甘楽広域消防本部及び富岡消防署庁舎を新築移転し、運用を開始するとともに一ノ宮分署を閉署する。消防本部内の統廃合が進み、庁舎、設備の老朽化や消防力の分散化を解消する。
- 7. 2. 28 岩手県大船渡市山林火災が発生し、群馬県緊急消防援助隊の一員として 2 月 28 日から 3 月 10 日までの期間中に 8 隊 24 人を派遣し消火活動を行う。
- 7. 4. 1 職員を 3 人採用して、消防本部 21 人（群馬県防災航空隊派遣 1 人、たかさき消防共同指令センター派遣 4 人、群馬県消防学校派遣 1 人）、指揮管理課 10 人、富岡消防署 40 人、甘楽分署 23 人、妙義分署 11 人、下仁田消防署 11 人、南牧分署 11 人、西牧分遣所 10 人の消防長以下 137 人となる。
- 7. 4. 25 救命士 2 人誕生、44 人となる。

消防相互応援協定等の締結状況

名称	締結先機関名
群馬県消防相互応援協定 (平成 24 年 9 月 3 日) (平成 30 年 12 月 13 日改定)	前橋市 高崎市・安中市消防組合 桐生市 伊勢崎市 太田市 利根沼田広域市町村圏振興整備組合 館林地区消防組合 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合 吾妻広域町村圏振興整備組合
消防相互応援協定 (平成 27 年 3 月 30 日)	佐久広域連合
群馬県防災航空隊支援協定 (平成 18 年 3 月 27 日)	群馬県
関越自動車道、上信越自動車道及び北関東自動車道における消防相互応援協定 (平成 26 年 2 月 22 日)	前橋市 高崎市・安中市消防組合 伊勢崎市 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合 児玉郡市広域市町村圏組合 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 利根沼田広域市町村圏振興整備組合 佐久広域連合 太田市 足利市
鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定 (平成 20 年 10 月 1 日)	群馬県総務部消防保安課 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社 上信電鉄株式会社 前橋市消防本部 高崎市等広域消防局 桐生市消防本部 伊勢崎市消防本部 利根沼田広域消防本部 渋川広域消防本部 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部 吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部
救急業務事務委託協定 (平成 12 年 4 月 1 日)	佐久広域連合
災害時における応急業務に関する協定 (平成 9 年 5 月 1 日)	西毛生コンクリート協同組合 社団法人群馬県建設業協会富岡支部
緊急時における農業用水利施設使用に関する協定 (平成 27 年 4 月 1 日)	鐺川土地改良区 甘楽多野用水土地改良区